

北条高校生によるため池の調査研究について

11月8日（水）、県立北条高校人間創造コースの1～2年生の生徒15名と先生3名、加古川西部土地改良区の職員3名の総勢21名でため池の調査研究のために、大池（上宮木町）にて“かいぼり”を実施しました。“かいぼり”を行うことにより、ため池の底に溜まったヘドロや泥を掻き混ぜてため池の水質改善にも繋がり、併せて外来種の駆除としての雑魚取りも実施しました。

最初にため池クリーンキャンペーンとして、ため池の堤内縁にある空き缶やプラスチック片などのゴミを回収しました。

次に、改良区の職員がため池に生息する動植物の植生や生態の授業を行い、生徒は真剣に学習していました。その後、生徒たちは胴長に履き替えてため池に入り、泥に足を取られながら網や伏籠の漁具「ウグイ」を駆使して大型魚を捕獲しました。最後にそれらを選別し、「捕獲した魚を調理してみる」と言って、北条高校に持ち帰り探求活動を行いました。

【当日の行程】

- 14:30 開会 あいさつ（大池：上宮木町）
- 14:35～14:55 ため池クリーンキャンペーン
- 14:55～15:10 「ため池の動植物について」（講座）
- 15:10～16:20 かいぼり（雑魚取り）
- 16:30 解散

【活動状況写真】



ため池クリーンキャンペーン



講座



雑魚取り①



雑魚取り②



雑魚取り③



雑魚取り④